

# 航空保安に関する新体制について

テロ情勢は依然として厳しく推移

ICAO (国際民間航空機関) が定める  
国際標準への適合の必要性



G8 (シーアイランドサミット) の要請

我が国の航空保安対策の更なる  
強化が必要



航空保安に関する新体制へ移行 (平成17年4月より)

(一部の対策については、4月以降に順次実施予定)

## 1. フェーズEの恒久化

『フェーズE』 現行の警戒体制の最高水準  
( 9.11テロ以降継続中)



『レベル』として恒久化  
( 現行の『フェーズ』、『フェーズ』は廃止)

特定の便等に対する脅威が高まった場合に、『レベル』、『レベル』を新たに設定  
( 現行は『フェーズE+』、『フェーズE++』として設定)

## 2. 航空保安対策の基準強化

『搭乗旅客・機内持込手荷物』、『受託手荷物』の保安対策基準に加え



『航空貨物』に係る保安対策基準を強化

『航空機』の保安検査、『機内食・機用品』に係る保安対策基準等を新たに策定

## 3. 航空保安対策に対する国の財政措置拡充

航空貨物X線検査装置への補助、空港関係者等に対する保安検査の補助、空港保安体制の強化等、  
国の財政措置を拡充 (平成17年度予算内示額約102億円 (対前年度比1.4倍))

# フェーズEの恒久化について

【現 行】

【17.4.1以降】

